

創造男子・都市大女子 県V

中信勢 3年連続の快挙



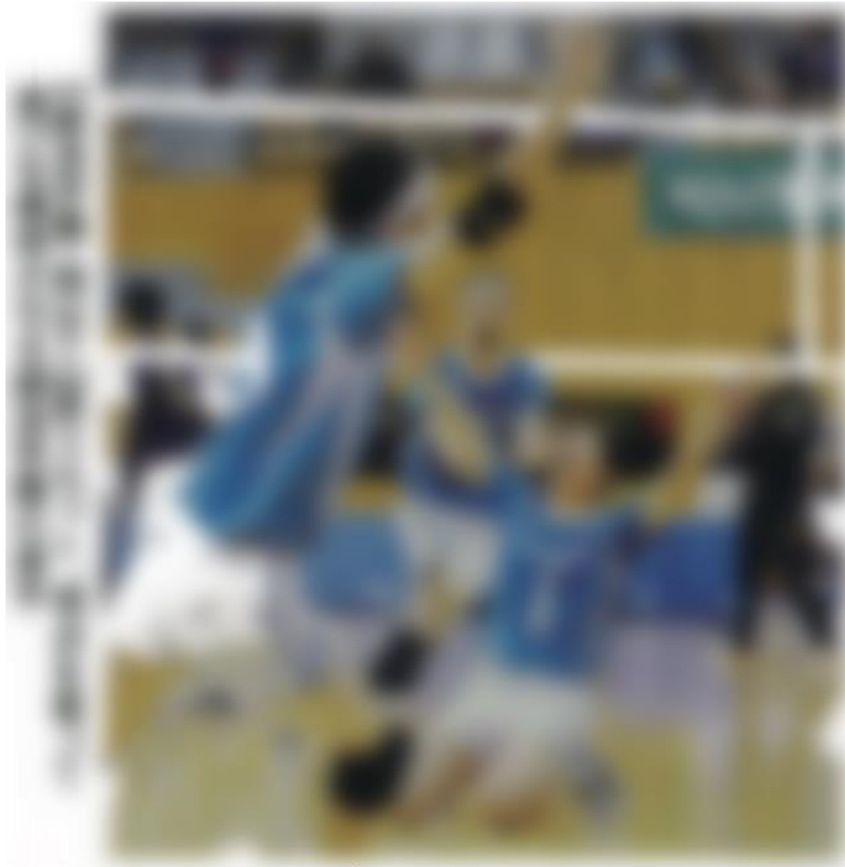
第68回全日本バレーボール高校選手権(春高バレー) 県大会は15

◇決勝
▽男子

創造学 園 3
25 25 25
13 11 11
0岡谷工

▽女子

都市大 塩尻 3
15 25 24 23 25
8 22 26 25 12
2長野日大



【都市大塩尻―長野日大】最終セット、サービスエースを奪って笑顔を見せる都市大塩尻の選手

日、長野市のホワイトあり、男子は創造学園 子は都市大塩尻が5年めした。中信勢が男女そろって頂点に立つのは

3年連続となる。両校は来年1月5日に東京都で開幕する全国大会に出場する。男子の創造学園は圧倒的な強さで岡谷工をストレートで破った。第1セットの立ち上がりにはセンターのエバデアンやサイドアタッカーの中野竜、池田の3連続ポイントで流れをつかむと、その後も7連続ポイントを奪うなど主導権を握った。第2セットは一挙12連続得点を奪う猛攻を見せ、第3セットも高い攻撃力とブロックで付け入る隙を与えなかった。

女子の都市大塩尻は苦しみながらも長野日大とのフルセットの激闘を制した。第1セットは攻守ともにかみ合っ25―12で先取したもの、第2、3セットは相手のサーブに苦しめられて接戦の末に落とされた。先に王手をかけられた都市大塩尻だが、サイドアタッカーの中島を中心にした攻撃で第4セットを奪い返すと、最終セットも勢いそのままに取り、逆転勝利を収めた。

(山浦雄一郎)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会